

技術情報シート

1. 技術の名称	排水・浸出水の生物応答試験による総体的影響評価技術
2. 技術の内容	廃棄物処理施設や最終処分場から系外に放出される排水や浸出水を対象として、種々の水生生物(藻類、甲殻類、魚類)による生物応答試験(WET*試験)を実施し、排水等に含まれるすべての化学物質の生態系に対する有害性を、それらの相互作用も含めた総体的な影響として評価します。 *Whole Effluent Toxicity
3. 技術の概要	【技術の目的・用途】 環境中に排出された多種多様な化学物質が、複合的に水生生物に悪影響を及ぼすことが懸念されています。本試験は、排水等に含まれるすべての化学物質の水生生物に対する影響を総体的に評価する方法です。従来の化学分析による有害物質管理を補完する方法として、廃棄物処理施設や最終処分場の排水管理に適用することにより、排水等が周辺の生態系に及ぼす影響を評価し、適切な対策を講ずることが可能になります。 【技術の特長】 排水等の「淡水藻類を用いる生長阻害試験」、「ミジンコ繁殖試験」および「胚・仔魚期の魚類を用いる短期毒性試験」を実施し、試験生物に有害な影響を及ぼさない排水等の濃度を求め、排水等の生態影響を評価します。 【実績】 水質が異なる多種多様な事業所排水を対象とした生物応答試験をこれまでに数多く受託しており、高度な技術と豊富な経験に基づいて排水等の生態影響を評価します。 【価格又はその問い合わせ先】 海外事業部・光本育郎(TEL.+81-045-593-7637, e-mail:mitu@ideacon.co.jp)
4. 技術の分類	
①用途分類	調査・評価
②対象廃棄物	廃プラスチック、建設廃棄物、家電製品、蛍光管、電子製品、携帯電話、自動車、電池・鉛バッテリー、廃タイヤ、医療系廃棄物、廃油
③提供役務	コンサルティング、環境影響評価、調査・データ処理
5. 本技術に関するサービス提供が可能な国	東南アジア
6. 検索キーワード	排水、浸出水、生態影響、毒性試験、WET、化学物質管理、モニタリング
7. 問合先窓口・担当者	いであ株式会社 海外事業部・光本育郎 (TEL.+81-045-593-7637, e-mail : mitu@ideacon.co.jp)